

SPARView Vol 22, No.07 February 17, 2024



対象業界、

測量とマッピング、都市計画・スマートシティ、建築、エンジニアリング、建設、資産および施設管理、災害・緊急対応、地球観測と衛星への応用、エネルギー & 公益事業、インフラと輸送、土地と天然資源の管理、鉱業と骨材、

会議プログラム

イノベーター、エンドユーザー、規制当局など、さまざまな専門家による最新のアップデート、ケーススタディ、アイデア、予測。どのようなトレンドやテクノロジーが登場するか? どのような新しい課題と機会が待ち受けていますか? 急速に進化する環境において、あなたとあなたの組織はどのように準備し、予測し、利益を得ることができるか?



Geo Week 2024 のオープニング基調講演

「The Bright Future Ahead: Navigating AEC, 3D, and Geospatial Innovation and Change」

業界が経験している大きな変化と、今後数年間に予測される継続的な変化に焦点を当てた。POWER Engineers の最高情報責任者である Claire Rutkowski 氏による短いプレゼンテーションで始まり、CDM Smith のデジタルエンジニアリングソリューション担当バイスプレジデントである Andrea Springer 氏、Skender のシニア建設技術者である Ben Stocker 氏とともに、Rutkowski 氏による魅力的なパネルディスカッションが行われた。

AEC 業界は現在、転換点にあります。老朽化したインフラの更新とメンテナンスが切実に必要とされており、特に都市部とその周辺では、人口の増加に対応するために大規模な新しいインフラが必要です。これらすべてと並行して、業界は大きな変化を経験しており、かつてないほどのテクノロジーを採用し、ワークフローを合理化し、利益を最大化するために新しいツールを活用している。



「今から 5 年後、10 年後に本当に重要なのは人間性です」とルトコウスキイは聴衆に語りました。 「コンピュータにできないことの 1 つは、人間であることです。共感と思いやりを提供する能力、クラインアントが何を望んでいるのかをじっくりと理解し、それをコンピューターが理解できる言葉にする能力、これらのスキルは本当に、本当に重要になります。」

展示紹介

Geo Week 2024 は、毎年恒例の製品レビュー プレゼンテーションで幕を開け、イベントが本格的に始まりました。これらのプレゼンテーションで展示された製品は、広いエリアのマッピングに使用されるハードウェア、ドローン対応の測量およびマッピングプロジェクト用のペイロード、およびこのデータを処理し、見栄えの良い方法でデータを提供するのに役立つソフトウェアにまで及びました。これから約 3 日間で、それぞれの企業が発表した内容を見ていく。



Kelyn

[Geo Week Spotlight: KELYN3D Showcases the Power of True, Accurate 3D](#)

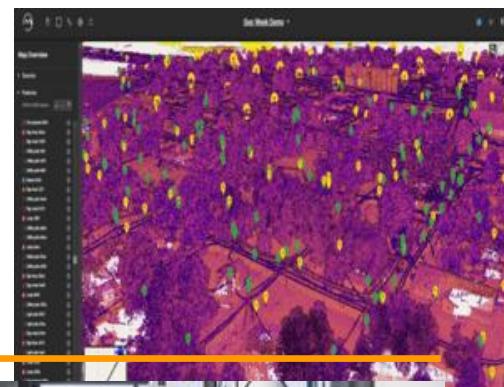
Kelyn の PluraView 3D デュアルスクリーンモニターは、ユーザーが真の正確な 3D を視覚化しながら 3D で作業することを可能にし、プロ仕様のちらつきがなく、ステレオチャンネルあたり最大 4K の解像度を備えている。GlobeView 3D ステレオモニターは、2D モノラルおよび 3D ステレオで柔軟に使用できる真の 3D ステレオで地理データを視覚化できる。



Mach9

[Mach9 wants to create maps 30 times faster than previous standards](#)

厳選されたパートナーを Digital Surveyor プラットフォームにオンボーディングしており、第 2 四半期にプラットフォームへのアクセスを拡大し、より迅速で洞察力に富んだマップ作成と分析への道を開く予定



NavVis

[NavVis VLX3](#)

リアリティ キャプチャの基盤です。NavVis VLX3 は、業界をリードするウェアラブル モバイル マッピング システムであり、複雑な現場のレーザー スキャナの専門家に包括的で非常に詳細なリアリティ キャプチャを効率的に提供



TeeLabs

[TeeLabs Co., Ltd - Spatial Business Solutions](#)

物理的な空間をデジタルツインに変換するためのハードウェアおよびソフトウェアソリューションを提供。「デジタルマッピング KIT」を使用すると、開発者はスペースの更新を個別に管理できる。

For your business innovation,

TeeLabs re-create your space
into a Premium Digital Twin!



Vexcel

Vexcel - UltraCam Dragon 4.1

UltraCam Dragon 4.1 ハイブリッド航空マッピングシステムは、強力な 2.4 MHz RIEGL OEM LiDAR スキャナーから正確な標高情報で強化された高解像度の直下および斜めの航空写真を生成



Bad Elf

Bad Elf - Flex Mini

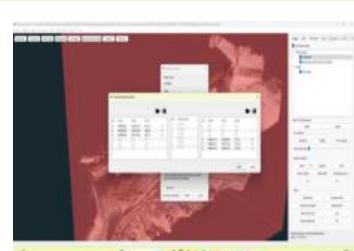
タブレットやスマートフォンなどのあらゆるコンピューティングデバイスに信頼性の高い高性能 GPS 受信を提供するマッピンググレードの GNSS



3Dsurvey

3Dsurvey

あらゆる入力からのデータを処理できるソフトウェアであり、最終的には、スキャナや写真測量を行う際の手作業を減らすことができます。 オールインワンのソフトウェアソリューションは、さまざまなモジュールを購入する必要なく、すべてを 1か所で提供



ArcGIS

Esri - Booth #707

ArcGIS GeoBIM は、地理空間コンテキストを使用して AEC プロジェクトを変換し、大規模な資本インフラストラクチャの設計、建設、運用時に BIM プロセスを GIS に接続することで、リスク、コスト、タイムラインを管理できるようにする。



Certus Evo

Advanced Navigation - Certus Evo

AI ベースの GNSS 支援ナビゲーションソリューションで、最も厳しい条件下でも非常に正確な位置、方位、タイミング情報を提供します。その MEMS センサーは、手頃な価格の光ファイバージャイロのような性能、高い信頼性、および低 SWaP を提供



Emesent

Emesent - Hovermap ST-X

SLAM ベースの LiDAR マッピングを新たな高みへと引き上げ、大規模なアセットや複雑な地形の自律マッピングを可能にする。 Hovermap ST-X は、Hovermap ST の多用途な自律性とマッピング機能で数々の賞を受賞し、最新の LiDAR センシング技術を搭載し、カバレッジを拡大した高密度の点群を提供



Arrow Gold

[EOS Positioning Systems - Arrow Gold+](#)

4つのグローバル GNSS コンステレーション(GPS、GLONASS、Galileo、BeiDou)、利用可能なすべての周波数、および衛星ベースの RTK 増強を iOS、Android、および Windows デバイスに実装した、市場で最初の高精度 Bluetooth GNSS 受信機



FARO

[FARO - Orbis Mobile Laser Scanner](#)

Orbis は、スピードと精度のトレードオフを、包括的なモバイルスキャンソリューションで解決します。モバイルスキャンの速度を提供すると同時に、静的スキャンの品質と精度も提供



FJDynamics

[FJDynamics - FJD Trion P1](#)

FJD Trion P1 は、コンパクトでパワフルなハンドヘルド LiDAR スキャナーで、プロもアマチュアも、環境を 3D で迅速かつ正確に再構築することができる。



Mosaic

[Mosaic - Xplor](#)

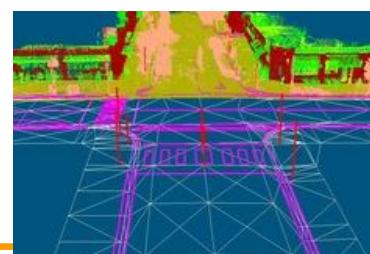
Mosaic Xplor は、LiDAR 技術を搭載した最先端のモバイルマッピングバックパックカメラで、高解像度の 360°画像と困難な環境の 3D スキャンをキャプチャするために設計されています。



VRMesh

[VirtualGrid - VRMesh](#)

VRMesh は、点群分類、特徴抽出、点群からメッシュ、メッシュ編集、ポリゴンモデリングカバーする、使い易く柔軟な点群処理ソフトウェアである。



Lidarett

[Lidarett H32X](#)

ユーザー固有のアプリケーションに最適な方法を使用するために独自に設計された、柔軟でコンパクトな Lidar スキャンシステムの最新モデルである。UAV、車、バックパック、分隊、バイク、USV などの複数のプラットフォーム間で簡単に取り付けて交換できる。



LidarSwiss

LidarSwiss - Lidar Synchronous Acquisition and Processing (LSAP)

LidarSwiss の自動 LiDAR ソリューションである LSAP(LiDAR Synchronous Acquisition and Processing)は、完全に自動化された LiDAR データの取得と処理に向けた次世代のシステムである。



Elysium

Elysium - InfiPointsI

InfiPoints は、生の点群キャプチャを実用的な成果物に変換するためのソフトウェアソリューション。



Leica

Leica - BLK2GO Pulse

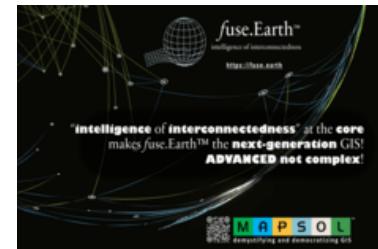
Leica BLK2GO PULSE は、デュアル ToF センサーと高解像度カメラを使用して、必要なものを必要なときに、自分の視点からキャプチャする一人称視点のハンドヘルドレーザースキャナーです。



Mapsol

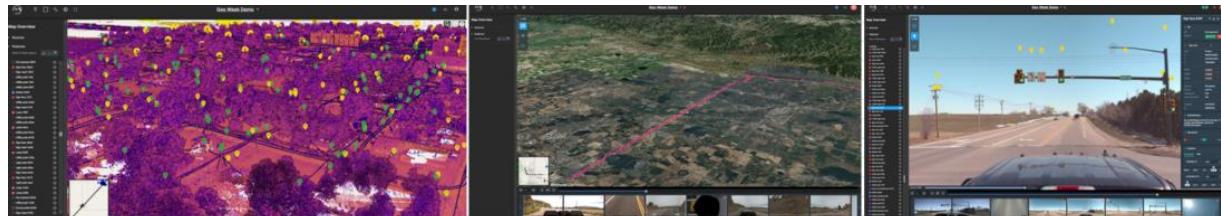
Mapsol Geo - Fuse.Earth

データ、ツール、地理空間情報のユーザー全体の間には、大きなギャップが残っています。10 人中 8 人は、日常のルートファインディングなど、直接的または間接的にこれらのシステムに依存しているにもかかわらず、「地理空間」は奇妙で複雑な言葉だと考えている。



Mach9 : 標準の 30 倍の速さでマップを作成

Mach9 wants to create maps 30 times faster than previous standards



カーネギーメロン大学のロボティクス・インスティテュートは、今日のテクノロジー業界で最も画期的な進歩と革新的な思想家を輩出しており、Mach9 もその一翼を担っている。LiDAR と画像データを取り込み、非構造化 3D データを回路図、CAD、または GIS に変換できる。

3 つの重要な目的を果たす。1 つ目は、地理空間コンテンツへのアクセスを向上させること。第 2 に、LiDAR と画像データによって作成されたこれらのタイプのマップとモデルから、主要なフィーチャの検索や複雑なデータセットの理解などの洞察を顧客が提供できるようにする。そして最後に、Mach9 は、

この製品を、Autodesk、Bentley、Esri などの企業が提供する他の確立されたソリューションと統合させる。

USGS:標高プログラムの最新情報と今後の展望

[Day Three of Geo Week 2024 kicks off with updates from the USGS](#)

米国地質調査所 (USGS) から 3 人のプレゼンターから標高プログラムの最新情報と今後の展望について説明を受けました。

3DEP データのユーザーに、彼らにとって何が最も重要であるかについて調査した。回答者の 4 分の 3 近くが、更新の頻度を最優先事項としている。57% が垂直方向の精度が 2 番目に重要な側面であると回答し、62% が地理的範囲が重要度の高い順で 3 番目であると回答した。



OpenStreetMap と Overture Maps のコラボ

[Geo Week Showcase: The Future of \(Open\) Mapping](#)

2022 年に設立された Overture Maps Foundation は、企業が共同でグローバル マップ データセットを開発および維持し、寛容なオープンデータ ライセンスの下で使用できる、」



VrThree:フォトグラメトリと Lidar 統合で大きな効果

[Geo Week Spotlight: VrThree from Cardinal Systems](#)

[Defines How Photogrammetry and Lidar Create Value](#)

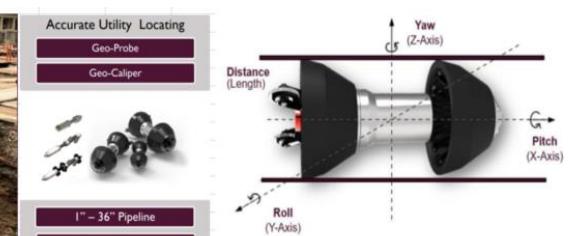
「フォトグラメトリと LIDAR」の議論が「フォトグラメトリと LIDAR」に関する議論に完全に発展したことを示すものであり、業界自体の重要な発展を物語っている。



GeoCal:地下マッピング

[GeoCal is helping to map assets under the ground](#)

世界人口の半分以上が都市部に住んでおり、1950 年の約 3 分の 1 から増加しています。2050 年までに、この割合は世界人口の 3 分の 2 に近づくと予想されています。その結果、都市部への住民の集中度が高まると、インフラに負担がかかる。



メンテナンスの重要性急増している。

COMMERCIAL UAV NEWS

法執行機関におけるドローンの採用の増加続く [Drone Adoption in Law Enforcement Continues to Rise](#)

公共の安全と法執行機関におけるドローンと関連システムの使用の増加が、大都市でも小さな町でも、数え切れないほどの方法で機能しており、市民をより安全にし、法執行機関の職員による活用が増えている。オレゴン州ベンド市では、近年、ドローンの使用が劇的に増加している。ベンド警察署は 2023 年に 239 件のイベントに対応するためにドローンを使用し、ベンド警察のパイロットは、2022 年の 316 回から合計 721 回の飛行を行った。現在、同署には 25 機のドローンと 12 人のドローンオペレーターがおり、「捜索救助任務、捜索令状の執行、墜落、犯罪現場」に対処している。



建設業界におけるドローン利用の現状

[Drone Programs in Construction Update: Who's Doing What?](#)

ドローンは建設業界においてますます影響力を増しており、効率、安全性、費用対効果を向上させるメリットを提供している。セキュリティ監視、エンベロープ、体積調査などから、竣工図書、測量、プロモーションビデオ、進捗状況写真などまで、ドローンは建設業界全体でさまざまな方法で使用されている。

プロジェクトに応用例；

劇場リノベーション

ミツバチにインスパイアされたドローンによる機内建物の修理

ドローンと AI



Exyn が Nexys を発表:複雑で困難な環境向けの完全モジュール式 3D マッピングソリューション

[Exyn Unveils Nexys: A Fully Modular 3D Mapping Solution for Complex and Challenging Environments](#)

最適なパフォーマンスを実現する高度なテクノロジー



Draganfly の Commander 3XL : Droning Awards 受賞

[Draganfly's Commander 3XL Recognized at the Droning Awards](#)

ドローンソリューションおよびシステム開発企業である [Draganfly Inc.](#) は、同社の Commander 3 XL ドローンが、The Droning Company の Annual Droning Awards で Best Enterprise Drone、Best Search and Rescue Drone、Best Delivery Drone に選ばれた。



在庫管理への S.L.A.M. 技術と自律型ドローン

The Use of S.L.A.M. Techniques and Autonomous Drones in Inventory Management

室内や地下採掘の用途、格納容器タンク内の検査などの GPS が使えない環境で、SLAM 技術による自動化が進んでいる。

国内の大手カカオ生産の何千個ものパレットを抱えた巨大な倉庫で、迅速かつ正確に、驚異的なターンアラウンド率で会計処理を行っている。

倉庫内の 33km の棚全体を 4 時間、5 人のパイロット、わずか 3 つのバッテリーで飛行できるドローンを設計・製作した。9 自由度の IMU(慣性計測ユニット)を使用。

ラベルを読み取って認識し、製品情報をテーブルに入力する AI モデルをトレーニングしていく。飛べば飛ぶほど、AI モデルの精度は上がり、現在、ほぼすべてのラベルで 94%/95% の精度を達成している。



海上飛行ミッションを変革する Hopper ドローン

Taking Flight: Hopper Drone Poised to Transform Maritime Missions

MITRE は米国海軍と提携し、海事分野で大きな可能性を秘めた小型 UAV を開発しました。この低コストのドローンは、海上で長期間自律的に運用でき、防衛から海洋生物学、気象学など、幅広い活動をサポートする。

サンディエゴからハワイまで、人間の介入なしに太陽光発電で充電しながら飛行。一度に数週間、場合によっては数か月にわたって海を「飛び跳ね」ていく。

これらの汎用性の高いシステムは、信号監視から津波警報、海洋生物の生物学的研究など、無数のミッションを果たすことができる。



Uniform Sierra Aerospace : 屋外戦術 UAS Panther を発売

Uniform Sierra Aerospace launches its Panther outdoor tactical UAS

小型の無人航空機システム(UAS)を製造する Uniform Sierra Aerospace は、警察署、消防署、緊急事態管理機関などの公安および政府機関市場向けに Panther ドローンを発売 した。

45 分以上の飛行と時速 50 マイルの巡航が可能。



商用ドローン連合

[CDA and MIT Lincoln Laboratory Announce Research Partnership](#)

商用ドローンアライアンスとマサチューセッツ工科大学リンカーン研究所が研究パートナーシップを発表



Skyports : 英国の水路のドローン検査完了

[Skyports Completes Drone Inspections Of UK Waterways](#)

Skyports Drone Services は、英国の河川および沿岸水路の水質を検査および監視することを目的とした一連のテスト飛行を完了した。飛行は、河川、沿岸部、河口域、つまり河川と海水が合流する地域の 3 か所で行われた。



DARPA の REMA 計画 : 商用ドローンにミッションの自律性

[DARPA's REMA Program to Add Mission Autonomy to Commercial Drones](#)

DARPA の REMA(Rapid Experimental Missionized Autonomy)プログラムは、オペレーターとの接続が途絶えた場合に、ドローンが事前に定義されたミッションを自律的に継続できるようにすることを目的としている。



[Association for Unmanned Vehicle Systems International](#)

SKYDIO X10: ドローン撮影技術の新たな基準

[SKYDIO X10 SETS A NEW STANDARD FOR DRONE IMAGING TECHNOLOGY](#)

Skydio X10 は、UAV センサーの限界を押し広げる新しいドローンです。クラス最高のビジュアルデータを取得し、インフラ事業者、公益事業会社、通信事業者、その他の企業ユーザーが最も困難な仕事を完了できるよう支援する。インテリジェントライトソフトウェアと、超高解像度のビジュアルカメラとラジオメトリックサーマルカメラを含むセンサーペイロードを組み合わせている

同じカテゴリーの他の 3 つの商用ドローン (DJI Matrice 30、DJI Mavic 3E、Autel 4T) と比較し、非常に優れた成績を収め、並外れた一貫性を示した。



Exyn Nexys:複雑な環境下での 3D マッピング

[Exyn Nexys Product Brochure](#)

Nexys の画期的なモジュール設計により、ハンドヘルド、バックパック搭載、車載、ドローン統合、地上ロボットなど、さまざまな構成での展開が可能であり、この適応性により、Nexys は、屋内および地下空間から険しい屋外の地形まで、さまざまな環境にわたる包括的なマッピングに不可欠なツールとなっている。



新研究：水素駆動ドローン実現に [New Research Could Improve Prospects for Hydrogen Powered Drones](#)

燃料電池の寿命を延ばす、相互浸透するポリマーネットワークを備えた耐疲労性電解質膜を開発した。電極(物質を通る電気の流れを可能にする導体)間のバリアとして機能する高分子電解質膜。この膜は陽子を伝導するが、電子、水素分子、酸素分子の移動を阻害する。

2023 年 12 月 31 日に Advanced *Materials* 誌に掲載された、仁川大学校の Sang Moon Kim 准教授とハーバード大学の Zhigang Suo 教授が率いる最近の研究



SCHIEBEL CAMCOPTER S-100: オーストラリアから運用承認取得

[SCHIEBEL CAMCOPTER S-100 Receives Operational Approval from Australian Civil Aviation Safety Authority](#)

[Wedgetail Aerospace](#) は、Schiebel Pacific の支援を受け、オーストラリア民間航空安全局(CASA)から、民間空域で [Schiebel](#) CAMCOPTER S-100 無人航空機システム(UAS)を運用する承認を得ることに成功した。



UAV Navigation-Grupo Oesía : 非 GNSS ナビキット

[UAV Navigation-Grupo Oesía Unveils GNSS-Denied Navigation Kit](#)

[UAV Navigation-Grupo Oesía](#) は、ナビゲーションソリューションの革新的なプロバイダーであり、最新の製品である GNSS 拒否ナビゲーションキットを発表した。

<https://youtu.be/kdsRB5WbanA>

1min 30sec



Radar Drones : 洪水・干ばつ管理に革命

[Radar Drones Could Revolutionise Flood and Drought Management](#)

合成開口レーダー(SAR)は、電波を使用して地球表面の詳細な画像を作成します。物体に波を跳ね返し、その帰還時間を測定し、データを組み合わせて高解像度の地図を作成します。[Dan Evan 博士](#)が率いるこのプロジェクトは、土壤水分モニタリングにおける革新的な技術の精度と潜在的な用途を評価する。

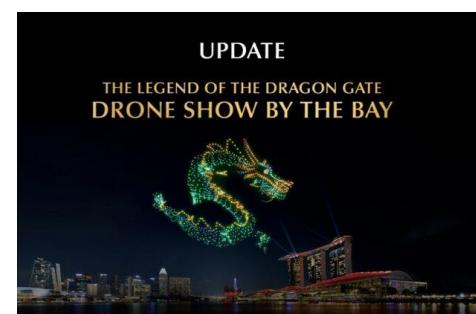


シンガポール : 旧正月のドラゴンドローンショー

[Dragon Drone Show at Marina Bay Sands, Singapore for Chinese New Year](#)

<https://youtu.be/pyEWcfn7rT0>

6min 30sec



AeroVironment's Puma 3 : 寿命 3 時間達成

[AeroVironment's Puma 3 AE Now Has Extended Endurance of Up to 3 Hours](#)

[AeroVironment](#) の PS2500 バッテリーは、Puma 3 AE 無人航空機システム(UAS)での使用が承認された。オプションの PS2500 バッテリーにより、オペレーターは最大 3 時間の飛行時間の延長耐久性を実現できる。



カナダロシア：ロシアへの技術輸出に有罪を認める Canadian Russian Pleads Guilty to Exporting Technology to Russia

カナダ系ロシア人女性が、ウクライナとの戦争で軍事利用するためにロシアに電子機器を送る数百万ドルの計画に関与したとして有罪を認めた。



DARPA の REMA プログラム：商用ドローンの自動化

DARPA's REMA Program to Add Mission Autonomy to Commercial Drones

商用ドローン技術は急速に進歩しており、さまざまな民間および軍事ミッションに費用対効果の高い堅牢な機能を提供している。DARPA の REMA(Rapid Experimental Missionized Autonomy) プログラムは、オペレーターとの接続が途絶えた場合に、ドローンが事前に定義されたミッションを自律的に継続できるようにすることを目的としている。



米国エネルギー省: AgEagle eBee X と eBee TAC ドローン調達

US Department of Energy Laboratory Procures Fleet of AgEagle eBee X and eBee TAC Drones

AgEagle Aerial Systems Inc. は、世界中の商業および政府部門の顧客にフルスタックドローン、センサー、ソフトウェアソリューションを提供する企業であり、米国エネルギー省(DOE)に代わってオークリッジ国立研究所(ORNL)を管理・運営する UT-Battelle, LLC による eBee X および eBee TAC ドローンのフリートの調達を発表した。



中国 : CH-7 ステルス UCAV の開発を完了 China Completing Development of CH-7 Stealth UCAV

中国航天科技集团公司(CASC)によって開発され、未決定のターボファンエンジンを搭載した CH-7 は、深部貫通プラットフォームとして開発されている高高度 UCAV です。UCAV の中心的な役割は、敵の防衛空域を突破して戦略的目標を攻撃することである。



米陸軍 : UAS を高く評価し、将来の攻撃偵察機計画をキャンセル US Army Cancels Future Attack Reconnaissance Aircraft Program in Favour of UAS

航空近代化への投資を新しい永続的なプラットフォームに再調整すると発表した。



オーストラリア、次世代 Loyal Wingman ドローンにさらに巨額投資

[Australia to Invest a Further \\$260M on Next Generation Loyal Wingman Drone](#)

\$260M 投資

https://youtu.be/QlvdZm_S9TA

1min 17sec

数百人の高度な
スキルを持つ雇
用を確保



ロシア：WDS 2024 で Orlan-30 UAV を展示

[Russia Showcases Orlan-30 UAV at WDS 2024](#)

特殊技術センターが Rosoboronexport ブランドで開発した無人航空機システム「Orlan-30」は、現在、サウジアラビアで開催される「World Defense Show 2024」で展示している。



Raytheon：ドローン対抗 Coyote Block 2+ Kinetic Effector 展示

[Raytheon Showcases Coyote Block 2+ Kinetic Effector for C-UAS at WDS 2024](#)

WDS 2024 に出演

この派生型は、ブーストロケットモーターとタービンエンジンを備えた、対無人航空機システム(C-UAS)ミッション用の低コストのレール発射ミサイルソリューションとして設計されてる。



BAE Systems：米海軍向け MQ-25A UAS 強化

[BAE Systems to Enhance US Navy's MQ-25A UAS with Next-Gen Vehicle Management System Computer](#)

BAE システムズは、米国海軍の MQ-25 無人空中給油システム用の車両管理システムコンピューター(VMSC)のアップグレードと近代化のためにボーイシング社に選ばれた。



WhiteFox : 南アジア Awarded \$1M Phase I

WhiteFox Awarded \$1M Phase I of a South Asia Drone Defense Contract

南アジアのドローン防衛契約のフェーズIで100万ドル

近年、悪意のある目的でのドローンの使用がエスカレートし、世界中の重要インフラ、国家安全保障、公共の安全に重大なリスクをもたらしている。



ウクライナ : ロボット車両でロシアのドローンを捕獲

Ukrainian Soldiers Capture Russian Drone Using Robotic Vehicle

<https://youtu.be/qBGwVp1VmyM> 34sec



ウクライナ : ロシアの Lancet カミカゼ・ドローンをクローン化

Ukraine Clones Russia's Lancet Kamikaze Drone

攻撃ドローンは最大40kmの距離にある標的を攻撃できる

ドローン発射台



ロシア JSC Vektor : 新 C-UAS 発表

Russian C-UAS Manufacturer JSC Vektor Unveils New Suppressor at World Defense Show

ワールドディフェンスショー(WDS)2024で新しい対無人航空機システム(C-UAS)を発表した。このシステムは20分以内に展開でき、包括的な戦術C-UASソリューションに対するロシア軍の要件を満たすために開発された。



BlueHalo と Eqlipse Technologies 連携 : 防衛技術提供

BlueHalo and Eqlipse Technologies Combine to Improve Defense Technology Offer

BlueHaloは、国防総省(DoD)とインテリジェンスコミュニティ(IC)に差別化された製品とソリューションを提供するEqlipse Technologiesを買収すると発表した。



アゼルバイジャン：新しい Akinci ドローン施設を開設

[Azerbaijan Opens Facilities for New Akinci Drone](#)



英国：ウクライナに国際連合の共同リーダーとして数千機のドローン供与

[UK to Supply Thousands of Drones as Co-Leader of Major International Capability Coalition for Ukraine](#)

英国とラトビアは共同で能力連合を主導し、戦場で高い効果を発揮している一人称視点(FPV)ドローンを含む数千機のドローンをウクライナに供与する予定

英国は西側諸国によるウクライナへの「一人称視点」(FPV)ドローンの提供を拡大し、合理化する。FPVドローンは、ロシアの全面侵攻以来、戦場で非常に効果的であることが証明されている。



Bell：ホロマン空軍基地で高速垂直離着陸(HSVTOL)技術を実証

[Bell Demonstrates High-Speed Vertical Takeoff and Landing \(HSVTOL\) Technology at Holloman Air Force Base](#)

ホロマン高速テストトラックを利用して、折りたたみ式ローター、統合された推進力、および飛行制御技術を代表的な飛行速度で実証した。

これは、将来の戦闘機のための次世代の高速垂直リフト航空機の開発における極めて重要なステップである。



スウェーデン：国土防衛にフランスの Parrot ドローンを選択

[Sweden Selects French Parrot Drone for Home Guard](#)

スウェーデンは、フランス企業 [Parrot](#) のドローンをホームガードの予備役部隊に採用した。

高度 40 メートルのホット スポットを検出できるサーマル カメラと、最



大 2 km 離れたターゲットにズームインできるカメラが組み込まれている。

ヨルダンのタワー22 「兵站前哨基地」はドローン基地

Tower 22 'Logistics Outpost' in Jordan is a Drone Base

3人の米軍兵士が殺害されたヨルダンの米軍基地、タワー22は、ペンタゴンが説明しているような、単なる「兵站支援基地」ではない。

ペンタゴンが言及していないのは、タワー22は、空爆のために隣国シリアとイラクの過激派を長距離偵察する無人機基地でもあるということだ。この基地は、特殊作戦部隊の中継施設や救急ヘリコプターの本拠地としても機能している。



ハインケル He 162 – ドイツの絶望戦闘機

Heinkel He 162 – Germany's Desperation Fighter

<https://youtu.be/S6LGGFxdjEI>

17min 51sec

Desperation 絶望



＜訳者コメント＞

- 1) GeoWeek2024 終了。各種イベント統合し、展示会として確固たるポジション確立。
始めて聞く名前の企業や商品名、まだ発展段階の証拠か、
- 2) 各種性能競争もさることながら、人間性、人間との関わり方が注目、
- 3) AIの適用、当たり前になってきた。
- 4) 軍事ドローン；ますます加速。カネと人が集まる。武器が売れなくなると失業。
平和になると困る人が急増。やりきれない！
- 5) Skydio :すべての性能で中国製 DJI を凌駕している？ 本当だと信じたい。
小形普及版では、勝ち目はない、と GiveUp したので、できて当然か？

2024-02-17 SPARJ 河村幸二